

総合科学技術会議 基本政策専門調査会  
研究開発システムワーキンググループ（第12回） 議事録

1. 日 時 平成22年11月17日（水）13：00～14：57

2. 場 所 内閣府中央合同庁舎第4号館4階 共用第4特別会議室

3. 出席者 座長 相澤 益男 総合科学技術会議議員  
奥村 直樹 総合科学技術会議議員  
本庶 佑 総合科学技術会議議員  
有信 睦弘 東京大学監事  
門永 宗之助 I N T R I N S I C S 代表  
岸 輝雄 物質・材料研究機構顧問  
角南 篤 政策研究大学院大学准教授  
中馬 宏之 一橋大学イノベーション研究センター教授  
野間口 有 産業技術総合研究所理事長  
橋本 和仁 東京大学大学院工学系研究科教授  
山本 貴史 (株)東京大学TLO代表取締役社長  
内閣府事務局 泉 紳一郎 政策統括官（科学技術政策・イノベーション担当）  
岩瀬 公一 大臣官房審議官（イノベーション担当兼科学技術政策担当）  
大石 善啓 大臣官房審議官（科学技術政策担当）  
須藤 憲司 内閣府参事官

## 【議事】

○相澤座長 これから第12回研究開発システムワーキンググループを開催させていただきます。

本日は和田大臣政務官は午後から海外出張ということであるので、欠席となる。

それでは、事務局から出席者及び配布資料の確認をお願いします。

○事務局 本日は白石議員、青木議員がご欠席で、それ以外の方にはご出席いただいている。

それで、配布資料であるが、いつものように議事次第の裏側に配布資料を書かせていただいている。資料1から資料7までである。

それで、あわせて本日は机上配布資料として、本ワーキンググループの中間とりまとめと研究開発を担う法人の機能強化検討チームの中間報告、研究開発システム関連指標と、それと本日の午前中にあった基本専門調査会のほうで配布された資料についても、配布させていただいている。

○相澤座長 それでは、議論に入りたいと思うが、その前に前回の議論をまとめているので、事務局から説明をお願いします。

○事務局 それでは、資料1をごらんいただければと思う。前回のワーキンググループの概要ということである。

前回は中間まとめを踏まえて、年末のとりまとめに向けて検討すべき論点のうち、資金配分主体の位置付けの明確化とイノベーション創出に向けた場の構築と、この2点について検討を行っていただいたが、その概要は以下のとおりということである。

まず、資金配分主体の位置付けの明確化というところであるが、まず冒頭資金配分主体の位置付けというところでの中間とりまとめでは、研究開発独法であることを前提として議論していたが、今回のとりまとめに当たっても、その点についてはどうするかというご指摘があって、この点については自由に議論すべきということになったかと思っている。

ただし、国立研究開発機関の検討が行われているわけであるので、このワーキンググループでその資金配分主体が研究開発独法、あるいは国立研究開発機関に含まれるかどうか、あるいは別の設置形態にするかというような議論、結論まで得るのは難しいのではないかというご議論があったところである。

次の点は国と資金配分主体の関係というところについて、3点ほど書かせていただいている